

News Letter

vol.43
2020. 11月号

毎月発行

今月のよっしー

「宮崎のことがより好きになりました」「西都児湯地区楽しかった。将来戻ります」「日向入郷で医療したくなった!」「都城三股サイコー!」「自分も地域の一員!」

先日4週間の地域包括ケア実習を終えた5年生の写真入りメッセージからの抜粋です。なんとも頼もしいかぎりです!本当にいい表情で最終日に戻ってきました。

このような素晴らしい経験をさせていただきまして、各地の皆様から厚く御礼申し上げます。2015年5月に着任して、約5年半。今回のような経験を全ての宮大医学生に、しかもまとまった期間で「地域の一員」として働きながら学ぶ体制作りと一緒に汗をかいてきて、本当に良かったとしみじみ思いました。

実習先の近所の食堂に医学生がご飯食べに行ったところ、そこのご主人に「実習生ですか。頑張ってるね!とエールを頂いた、とても嬉しかったです」と学生が紹介してくれました。

こうした学習環境はまさしくAll Miyazakiであり、Pricelessのものであります。これまでの御礼を兼ねて現地への訪問を始めました。延岡ではどのの方々も熱い思いを持って学生実習を受け入れていただいております。関係する皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。



教授 吉村 学

つのだより

～都農町の寄附講座「地域包括ケア・総合診療医学講座
(通称：都農町まるごとケア講座)」からの定期的なお知らせ～

11月5、12日と2週に亘って“うらりん”ことひとづくり工房 esuco 代表であり、ナースファシリテーターである浦山絵里さんにオンラインセミナーを行っていただきました。今回のテーマは「ファシリテーション～実りの多い対話の仕方」と題し、第1回は話し方や話合いの進め方、会議のレイアウトを含めた場づくりの内容で、第2回はグループ内で進行役・板書役を交代しながら会議を進めていくという実技を盛り込みながらの内容で行われました。

立野院長をはじめ医師、看護師、事務職員、健康管理センタースタッフなど多職種の方々にご参加いただきました。

業務上、報告や委員会など多くの会議を行いますが、その会議をいかに有意義なもの、実りの多いものにするか、また参加しているようで参加できていない人を作らないような進め方など色々なポイントをレクチャーしていただきました。

本来であれば対面式でわいわいとグループワークしたかったセミナーですが、把握しづらい遠方の会場相手にオンラインセミナーを快諾してくださったうらりんさんに感謝です。



地域包括ケア実習第3クール、スタートしています。

診療参加型臨床実習クリニカル・クラークシップⅡは、第5学年後期から第6学年前期までの32週で、内訳は内科（8週間）、外科系（4週間）、学内診療科（8週間）、学外実習施設（8週間）、地域包括ケア実習（4週間）となっており、医学科5年生101名が更に学びを深めます。

10月26日から地域包括ケア実習第3クールがスタートし、Aグループの14名（うち1名は都農での長期実習）が県内各地での実習をさせていただきましたが、今回初の取り組みとして初日午前中に「初日オリエンテーション」を実施しました。目的としては地域包括ケア実習の主旨、実習のポイントを確認することで学習意欲を高め、スムーズな実習開始につなげることをとしています。今回はオンラインで実施し、実習サイトや学びのポイント、事例検討、シミュレーション体験など2時間しっかりと学んでもらいましたが、学生からは「本日のレクチャーのことを頭に入れて4週間頑張りたい」「3つのレンズをもっていろんな視点から患者をみたい」「たくさんコミュニケーションをとって楽しみたい」「地域のことをたくさん学びたい」等の非常に前向きなコメントがあり、各医療圏へ移動した実習となりました。

4週間の実習後、11月20日（金）に振り返り報告会を実施しましたが、各医療機関や地域の方々から様々な学びをいただき、成長した学生の姿がありました。終了後に行ったアンケートには、意見や要望等もありましたが、地域包括ケア実習の実習内容が充実していたと回答した学生の割合が非常に高く、趣旨に沿った4週間を過ごせたことが把握できました。

11月24日（火）からは続くBグループの13名がお世話になります。各医療圏の皆様から多くのことを学べる実習となっていますので、4週間ぜひ積極的に臨んでほしいと思います。当講座としては、Aグループで出た意見や要望を活かしつつ、実習でお世話になる医療機関や関係機関の皆様と更なる連携を取っていきたいと思っていますので、引き続き、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。



▲報告会は9ヶ月ぶりに対面で実施しました。

【医療機関の皆さまへお願い】

冬季休業明けの1月4日（月）～1月15日（金）の2週間について、地域包括ケア実習を含むクリニカル・クラークシップⅡは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から年末年始の県外移動増加を想定し、現地での実習中止、課題付与型に振替実習が決定となりました。実習の準備等していただいている中の通知となってしまいましたことを心よりお詫び申し上げます。

- 1月4日（月）～1月15日（金）の実習分についてはすべて中止となります。
- 学生は自宅待機のうえ、本学から課題を課します。
- 現地での実習再開は1月18日（月）からになります。

松田先生が論文を投稿しました。

当講座の講師の松田俊太郎先生が宮崎県医師会医学会誌（宮崎県医師会発行、第44巻第2号）に2編の論文を投稿しました。

1編目は「地域保健師による医学生実習の学習効果の検討」、もう1編は「地域で必要な人材は地域で育てる～地域医療参加型教育の効果について～」というタイトルで、右QRコードからも読むことができます。ぜひご一読ください。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/ken-ishikai/kaishi/kaishipdf/440209.pdf>

<http://www.miyazaki.med.or.jp/ken-ishikai/kaishi/kaishipdf/440210.pdf>



宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

